

2023 7.19(水)  
▶ 9.18(月)

〔開館時間〕 午前9時～午後5時 〔観覧料〕 無料

〔休館日〕 月曜日(休日の場合は翌平日)

# あたいげん近くの遺跡の話



掃除山遺跡検出 住居跡(上福元町・下福元町)



香梅ヶ淵(喜入町)



改新貝塚出土 黒色土器(古里町)

## 関連イベント

『学芸員もかく語りき!』

※無料

展示室に学芸員が常駐し、企画展の質問にお答えします。

日時: 7月30日(日)、8月13日(日)、8月27日(日)、9月17日(日) 全て13時30分～16時の間  
場所: ふるさと考古歴史館 企画展示室

「タノカンサアはかく語りき」



## この夏、

タノカンサア  
田の神様が語っちゃいます。

当館学芸員

約20年前のいわゆる“平成の大合併”により、薩摩半島北東部と目の前の鹿児島湾に浮かぶ桜島が“新生”鹿児島市になりました。その南北に延びる広範な市域は、現在、様々な特性を備えた9つの地域に区分されています。そしてそれぞれの地域ごとに、発掘調査を通して発見された遺跡、往時の名残を示す寺院跡や石造物、現在も多くの人々に愛される神社や名所、自然地形といった“豊かな地域資源”を目にすることができます。

今回の企画展では、発掘調査で発見された出土品を9つの地域別に展示すると共に、それぞれの地域の「宝」ともいえる様々な文化財や自然地形を写真パネルの展示を通して紹介します。

伊敷

タノカンサア



相変わらず話が固かもんじゃ。

そんなことは、夏休みを迎えた

子供たち鹿児島  
こどもたちに、かごんま市のことを分かりやす

く伝えることはできないよ。

よし！今回の企画展はあたいたちが一肌ぬぎ  
もんそ！かごんま市の遺跡や神社や名所やらを

説明すって。雨ん日も風ん日も地元を見つめ  
ている私たち知っているからね！  
ちよるあたいたちは、いろいろ知っちゃっど！

この夏は、ふるさとの歴史や文化にいっどふ  
くたさい！  
れてみやんせ！

※とはいえタノカンサアはそれぞれの地元から離れることができないとのことなので、展示室には写真で登場してもらい、教えてくれた話をパネルで説明します。また、タノカンサアの鹿児島弁は学芸員には難しかったので、展示室では標準語で表現してあります。



原田久保遺跡出土 磨製石斧  
(宇宿8・9丁目)



岩屋観音(春山町)



原五社神社(吉野町)



柵ヶ丸遺跡出土 木製農具未製品  
(郡山町)



皆与志の釈迦山摩崖仏(皆与志町)

